

April 2, 2026

4月2日は、国際子どもの本の日です

● 今年のメッセージとポスターは **キプロス** がつくりました

● IBBY 加盟国 [84の国と地域 / 2026年1月]

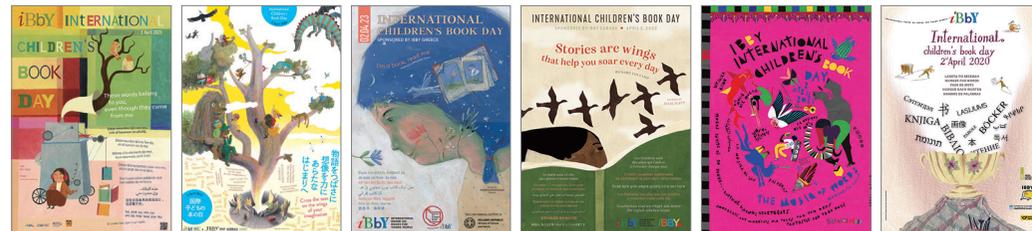
アイスランド アイルランド アゼルバイジャン アフガニスタン アメリカ合衆国 アラブ首長国連邦 アルゼンチン アルメニア
 エイメン イギリス イタリア イラン インド インドネシア ウガンダ ウクライナ ウズベキスタン ウルグアイ エクアドル エジプト
 エストニア エチオピア エルサルバドル オーストラリア オーストリア オランダ ガーナ カナダ 韓国 カンボジア キプロス
 キューバ ギリシャ グアテマラ クロアチア コスタリカ コロンビア シンガポール ジンバブエ スイス スウェーデン スペイン
 スリランカ スロバキア スロベニア タイ チェコ 中国 チリ デンマーク ドイツ ドミニカ トルコ ナイジェリア 日本 ネパール
 ノルウェー ハイチ パキスタン パレスチナ ハンガリー バングラデシュ フィリピン フィンランド フランス ブルガリア
 ベトナム ベネズエラ ペルー ベルギー ポーランド ボリビア ポルトガル マレーシア メキシコ モルドバ モロッコ
 モンゴル ヨルダン ラオス ラトビア リトアニア レバノン ロシア

<https://www.ibby.org/>

● これまでのポスター & メッセージ作成国

1967 スイス	1987 旧ソ連	2007 ニューゼaland
1968 旧ユーゴスラビア	1988 オーストラリア	2008 タイ
1969 スウェーデン	1989 ガーナ	2009 エジプト
1970 旧ユーゴスラビア / イタリア	1990 カナダ	2010 スペイン
1971 オーストリア / 旧チェコスロバキア	1991 ギリシャ	2011 エストニア
1972 アメリカ合衆国	1992 コロンビア	2012 メキシコ
1973 旧チェコスロバキア	1993 イラン	2013 アメリカ合衆国
1974 イギリス	1994 アメリカ合衆国	2014 アイルランド
1975 デンマーク	1995 日本	2015 アラブ首長国連邦
1976 イラン	1996 デンマーク	2016 ブラジル
1977 フランス	1997 スロベニア	2017 ロシア
1978 オーストラリア	1998 ベルギー	2018 ラトビア
1979 ブルガリア	1999 スペイン	2019 リトアニア
1980 ポーランド	2000 フィンランド	2020 スロベニア
1981 旧西ドイツ	2001 ハンガリー	2021 アメリカ合衆国
1982 キプロス	2002 オーストリア	2022 カナダ
1983 ベネズエラ	2003 ブラジル	2023 ギリシャ
1984 ブラジル	2004 ギリシャ	2024 日本
1985 オーストリア	2005 インド	2025 オランダ
1986 旧チェコスロバキア	2006 スロバキア	2026 キプロス

● 近年のポスター



2025年

2024年

2023年

2022年

2021年

2020年

JBBY

一般社団法人 日本国際児童図書評議会 / IBBY 日本支部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32 出版クラブビル TEL. 03-6273-7703



<https://jbbj.org/>

ものがたりを植えよう 世界中にさくように

エレナ・ペリクレウス（翻訳：武富博子）

むかしむかし、子どもが生まれました。おとぎ話の主人公よりも、よい人生をのぞんでいました。めでたしめでたしでは、ものたりません。

子どもは育ち、本を読み、いろんなものになりました。ドン・キホーテになって風車とたたかい、アリスになって不思議をあじわい、ロビン・フッドになって森をまもり、オオカミになって月にうたう群れをまとめました。

月日がたちました。この世界は、子どもがかつて夢みたようには変わりません。子どもはどうにか、庭のなかに自分の世界をつくりあげ、心からたいせつなもので満たしました。

さらに月日がすぎました。たくさんの本が、たましいに知恵をささやきこんでくれたので、子どもはするべきことがわかりました。

秋になると、土をたがやし、種をまきました。

冬がきました。子どもはしんぼうよく、白のおいがとけるのを待ちました。芽ばえつつある本のなかにささえられながら。

やがて、春になりました。やわらかな新芽がふき、幹はふとくなり、枝はのび、つぼみがほころびます。子どものたましいは花ひらき、色と香りに満たされました。

そして、夏は？ ボート、ヨット、気球、自転車……とおく、ひろく、旅する季節です！

いま、子どもははつきりとわかりました。この世界を変えるには、みずから、植える人になればいいのです。

魔法のものがたりを植える人。言葉をまいて、イメージをたがやし、不思議をかりいれ、想像力に水やりをします。すると、ものがたりが育ち、ひろがっていきました。

それから？ 子どもは愛をこめてかりこむと、花束にして、道ゆく人に贈りました。平和の花束、希望の花束、勇気の花束、不可能ではないと信じる花束。いろいろな奇跡の花束をひとつひとつ、すべての人に。

毎年、春の4月2日、子どもが植えたものがたりは、かがやくように、世界中にさきわたります。

ああ、そして庭仕事の作業場では、知恵がはぐくまれ、伝えられていきます。若い者へも、老いた者へも、同じように。

子どものつくった庭は「希望の庭」になりました。「奇跡の中庭」になりました。そこでは、魔法つかいがしっかりと地に根ざし、ものがたりをつむぐ赤い糸を、そよかぜのなかへ、ときはなっています。

■メッセージ

エレナ・ペリクレウス (Elena Perikleous)

教育と環境学を学び、現在はキプロス共和国の児童の権利保護担当コミッショナーとして活動。子どもの声に耳を傾け、尊重する社会の実現を目指し、教育・文化・文学を通じて子どもの権利を擁護している。著書は28冊にのぼり、多くがキプロスやギリシャで受賞。物語には世界を変える力があると信じている。

■ポスターアート

サンドラ・エレフセリウ (Sandra Eleftheriou)

2004年からイラストレーターとして活躍し、キプロス国立イラスト賞を6度受賞。IBBYオナーリストや国際アンデルセン賞候補にも選ばれるなど国際的にも評価が高い。作家としても成功を収め、複数の著作が文学賞を受賞。2021年からは文と絵を両方手がける絵本づくりも開始し、多才な創作活動を展開。

■翻訳

武富博子 (たけとみ・ひろこ)



英語翻訳家。訳書に『アップステージ シャイなわたしが舞台に立つまで』『サイド・トラック 走るのニガテなぼくのランニング日記』『くろい はまべ』(以上、評論社)、『動物探偵ミア! シリーズ (ポプラ社)、『列車探偵ハル! シリーズ (早川書房)、『ニューヨークのたからをまもれ!』(フレール館)、『アーニーのかさ』(講談社)など。

IBBYと
国際子どもの
本の日

国際児童図書評議会 (IBBY) は、子どもと本をつなぐ人々の国際的なネットワークとして、1953

年に創設された。現在 84 の国と地域が加盟しています。1966年、IBBYは、人々の子どもの本に対する関心を呼び起こすため、童話作家ハンス・

クリスチャン・アンデルセンの誕生日である4月2日を「国際子どもの本の日」と定め、世界中でお祝いや催しを行なうことになりました。翌年からは、IBBYに加盟する国々が順番にボスターとメッセージを作成し、世界中に発信するようになりました。日本支部であるJBIBYは、毎年、各国が作る世界共通ボスターとメッセージを日本語版で作らおし、国内の図書館などに配布しています。2026年はキプロスが担当国となり、世界中の子どもたちに美しいボスターとものがたりを届けます。日本の4月は木の芽が息吹き新しい生活が始まる季節です。「国際子どもの本の日(4/2)」「絵本週間(3/27~4/9)」「子ども読書の日(4/23)」「こどもの読書週間(4/23~5/12)」など、子どもと本をつなぐ活動が活発です。子どもたちが、一歩前に踏み出せるような、特別な一冊にめぐり逢うことを願い、国際子どもの本の日のメッセージとボスターをお届けします。

